

## 令和2年度第1回生駒市学研高山地区環境保全対策委員会会議録（要旨）

1 会議名称 令和2年度第1回生駒市学研高山地区環境保全対策委員会

2 開催日時 令和2年8月6日(木) 午後3時00分～午後4時15分

3 開催場所 エコパーク21管理事務所 2階研修室

4 出席者 出席委員 8名

(学識のある経験者)

伊木 雅之 委員長  
岸本 憲明 委員  
馬場 勝也 委員

(関連のある自治会代表)

西井 久之 委員  
中谷 隆一 委員  
柴田 弘昭 委員  
今井 正徳 委員  
山中 敏弘 委員

事業者

奈良先端科学技術大学院大学

事務局

市民部 岡田部長

環境保全課 奥田課長、木戸課長補佐、北里、山本、栗巢

上下水道部

下水道課 坂本課長補佐、松井

関係者

中外テクノス(株)

傍聴者 0名

5 会議次第

1 開会

2 役員選出

3 案件

- (1) 奈良先端科学技術大学院大学実験排水モニター改修工事について
- (2) 奈良先端科学技術大学院大学遺伝子組換え生物（シロイヌナズナ）漏出事故に係るモニタリング調査について

(3) 学研高山地区における監視測定結果について

(4) その他

## 6 配布資料

- ・ 会議次第
- ・ 委員名簿
- ・ 資料 1 奈良先端科学技術大学院大学実験排水モニター設備の改修工事について
- ・ 資料 2 遺伝子組換え植物（シロイヌナズナ）のキャンパス内漏出事故の経緯
- ・ 資料 3 遺伝子組換え植物のキャンパス内漏出事故への対応について
- ・ 資料 4 生駒市学研高山地区に係る調査結果報告書
- ・ 資料 5 生駒市学研高山地区に係る調査結果まとめ
- ・ 資料 6 生駒市学研高山地区環境保全対策基本指針
- ・ 資料 7 生駒市学研高山地区環境保全対策委員会条例

## 7 会議経過

- ・ 部長挨拶
- ・ 出席者紹介
- ・ 会議の成立について  
生駒市学研高山地区環境保全対策委員会条例第 7 条第 2 項の規定により、委員 10 名中 8 名の出席のため会議は成立
- ・ 会議の公開について  
公開 傍聴者 0 名

### 会議次第 2 役員の選出

#### <事務局>

自治会長の交代に伴い、副委員長が不在になっている。その初めての委員会となりますので、副委員長の選出をお願いしたいと思います。資料 7 の生駒市学研高山地区環境保全対策委員会条例第 6 条第 1 項で、「委員会に委員長及び副委員長を置く」、同条第 2 項で「委員長及び副委員長は、委員の互選により定める」とされている。委員に意見を求める発言。

#### <委員>

副委員長に地域の代表として、今井委員をお願いしたい旨の発言。

#### <委員>

了承。

**<事務局>**

今井委員が副委員長席に移動。

伊木委員長に本日の会議における運営をお願いする発言。

会議次第3

**案件（1） 奈良先端科学技術大学院大学実験排水モニター改修工事について**

**<奈良先端科学技術大学院大学>**

資料に基づき、説明。

**<委員>**

古い施設と比較して、新しい施設では分析項目、精度、新しい項目が増えるなど変化はありますか。との発言。

**<奈良先端科学技術大学院大学>**

測定項目は現在と同じ項目を継続して測定する予定です。当初の設備から新しい設備に変わることから精度は上がると考えている。との発言。

**<委員長>**

他に質問はありませんか。

現行施設は地図の中でどこになりますか。との発言。

**<奈良先端科学技術大学院大学>**

2 ページ目の平面図の左上にある既存実験排水モニター設備室が現状の場所で、その北側に新しく建物を建てようと考えている。との発言。

**<委員長>**

了解しました。

老朽化したことで取り替えるということですが、現状老朽化しても問題なく動いてるんですか？との発言。

**<奈良先端科学技術大学院大学>**

問題なく動いています。老朽化していますが、稼働しなくなる前に予算要求して、今回予算が認められました。との発言。

**<委員長>**

他、いかかでしょうか。無いようであれば、これでこの項目を終わりたいと思います。先端大の皆さん、ありがとうございました。との発言。

**案件（2） 奈良先端科学技術大学院大学遺伝子組換え生物（シロイヌナズナ）**

**漏出事故に係るモニタリング調査について**

**<委員長>**

事務局に説明を依頼。

**<事務局>**

資料に基づき、説明。

**<委員長>**

漏出问题が起こったときはびっくりしました。大変なことです。遺伝子組換え体が自然の世界へ出てしまうことは、自然界の遺伝子を改変してしまうことになってしまいます。人為的な変異を自然に加えることになるので、あとあと、どうなるか分からない。しかしながら、幸い大学の外には漏出していなかったということで、モニタリングについては2026年度まで継続することになっている。何かご意見ございますか。よろしいでしょうか。つぎに移ります。との発言。

**案件（3） 学研高山地区における監視測定結果について**

**<事務局>**

資料に基づき、説明。

**<委員>**

最初に奈良先端大の方が説明されたモニター改修工事と今の報告の下水道排水の調査は同じですか。との発言。

**<事務局>**

奈良先端大の実験排水モニターは、実験に係る処理水が集まる装置で、案件1ではこの装置の改修工事を審議していただきました。この装置で廃水に問題がないことをチェックした後、最終枡で生活排水と一緒にして外部に排出しています。案件3は外部に排出した排水の分析調査です。奈良先端大には「生活排水のルート」と「実験排水のルート」の2系統があり、実験排水はモニターでチェックした後、問題がある場合は設備をとめ、問題の解決や問題の有るものを除去してから排出することになっている。との発言。

**<委員>**

奈良先端大が説明された排水モニターでモニタリングした水は、下水道や排水に行くのですか。との発言。

**<事務局>**

下水道に流すために、分析した数値が基準を十分満たしていることをチェックします。問題がある場合はストップします。排水モニター設備は原因究明して正常なものに戻して流す装置と思ってください。との発言。

**<委員>**

排水モニター設備で実験排水がモニタリングされた後、生活排水等と一緒に流されるのですね。その結果が資料4の調査結果になるわけですね。との発言。

**<事務局>**

すべてモニタリング後の実験排水と生活排水等を合わせたものです。との発言。

**<委員長>**

実験系の排水をすべて外部に流しているわけではありません。実験室の段階で重金属が入っているもの等外部に排水できないものをまず取り分け、その段階で流していいものをだけを流しています。さらに、それをモニター施設で確認したうえで、下水道に流すことになってると思う。との発言

**<委員>**

了解しました。との発言

**<委員長>**

他に質問はありますか。との発言。

**<委員>**

芦田製作所は含まれていないが、除かれていますか。道の反対側は除かれるのですか。芦田製作所より新しいバーレープラスは入っているのに、芦田製作所が除かれている。との発言。

**<事務局>**

学研の中で実験設備があるところは生駒市と環境協定を締結していただいています。芦田製作所と協定を結んでいないのは、実験施設がないからだと思います。との発言。

**<委員>**

工場排水や工場騒音は特にないのですか。との発言。

**<事務局>**

別に下水道条例があり、通常の工場には下水道法に基づいた規制で対応しています。学研内の企業には、下水道条例よりも厳しい基準や実験に応じた基準で環境協定を結んでおります。との発言。

**<委員>**

単に工場を誘致してるのでしょうか？ 実験的な研究をやっているから、ここに誘致してるんじゃないかなって感じでしょうか。との発言。

**<事務局>**

基本は研究施設ですね。との発言。

**<委員>**

日阪製作所が造成工事に伴う説明会を開催しましたが、騒音や振動のことがあるので、できればモニタリングしてほしいと思います。また、上六印刷がこの四月に工場を増設して稼動しました。稼動してから上六印刷の北西あたりだけ、キーンという音がします。これについて上六印刷に改善を求めています。増設工事に関わった高松建設と一緒に改善していただき、一部を囲って音が出ないようにしてくれました。しかし、2階部分でまだキーンという音がなっています。改善状況は中間段階です。上六印刷はコンプレッサーの音かなと説明しています。工場の南側で騒音を測定していますが、北西側のキー

ンという音は人間にとって耳障りな音で、ちょっと気になります。そういう事例があることを、伝えさせていただきました。との発言。

**<事務局>**

先日、上六印刷からコンプレッサーの音で迷惑をかけている。騒音で困っている方がおられるので、状況を改善できるように取り組んでいきたいという相談をいただきました。コンプレッサーのメーカーと改善を考えているが、改善できないので、市は何かいい方法を知らないか、問い合わせをいただきました。生駒市では騒音に関する苦情、解決法の事例がなかったので、うまく解決できた事例を紹介出来ず、隣の奈良市で公害担当の職員に問い合わせました。その結果、ショッピングセンターの室外機が目に見えると騒音が余計に気になるので、室外機を覆い隠したところ、心理的な影響かもしれないが、改善された事例を聞くことができたので、その旨を上六印刷に伝えました。根本的な解決方法になるか分からないですけど。との発言。

**<委員>**

私も周辺を歩いてみましたが、北側にあるバーレープラスさんの交差点では全然聞こえないのです。ところが、バス停まで行くと聞こえる。今回、カバーをしてくれたので、今は気にならず、前よりは改善したかなと思います。今度はもっと上にある住宅のある通りが気になります。との発言。

**<事務局>**

音の当たり方、壁に当たって跳ね返る部分も出てくると思います。引き続き検討させていただきます。また、新たに誘致する会社の話ですが、実験・研究施設があれば、この会に諮らせていただきまして、協定等を結んでいく形になります。まだそこまで至ってなくて、先行して造成工事の話をなさっていると思います。どういう内容なのか決まりましたら、この委員会に諮らせていただきます。建築時の騒音、ダンプカーの騒音は協定とは別の話になります。との発言。

**<委員>**

工事の騒音ではなくて、工場が出来てからの騒音はどうなりますか。との発言。

**<事務局>**

工場稼働後のことにつきましては、この会議で諮っていただきますので、よろしくお願ひします。との発言。

**<委員長>**

騒音はレベルだけの問題ではないですね。騒音レベルを測定して基準値の中に入ってると言っても、キーンという音はレベルとしてはそれほど高くありません。エネルギーレベルとしては、だけど気になります。人間の耳で聞かないと分からないので、そういうことも併せて考えていかないといけないかもしれません。市でも騒音対策でいいアイデアがあれば、情報を伝えていただいて、不快な音がしないようにしてほしいと思います。よろしくお願ひします。他にありませんか。との発言。

<委員>

資料4のP32、No.3の井戸の調査結果で臭気の項目に硫黄臭と記載されています。水道法の基準では異常でないこととなっています。他の井戸は特に問題ありませんが、ここだけ硫黄臭があります。何か情報があれば教えてください。との発言。

<事務局>

おそらくですが、井戸水自体を長く使ってない影響で、水の中の酸素が減少して、その結果嫌気的な環境になったことで、硫酸還元菌が増えた結果、硫化水素が発生したものと考えられます。との発言。

<委員>

その後も硫黄臭が続いているのですか。との発言。

<事務局>

今年は8月4日に測定して、まだ結果が出ていなくて調査中です。との発言。

<委員長>

硫化水素と言われると人体に影響がある。との発言。

<委員>

毒性がありますね。との発言。

<委員長>

大丈夫ですか。との発言。

<事務局>

今年の結果をみて確認させていただきます。との発言。

<委員>

使用する井戸は昔からある生活に使用している井戸ですか。それとも検査のために掘った井戸ですか。との発言。

<事務局>

この地区に元々ある井戸で、生活用水に使っておりません。生活用水には上水道を使っています。との発言。

<委員長>

他にありませんか。無いのであれば、学研高山地区の調査結果については了承したい。との発言。

#### 案件(4) その他について

<委員長>

事務局から何かございますか。との発言。

<事務局>

前回の委員会で質問いただいた「生駒市が大学院大学と参天製薬の実験排気・実験排水をなぜ測定しているか」について回答させていただきます。

学研高山地区に奈良先端科学技術大学院大学が進出する際に、事業活動に伴う環境汚染及び災害等を未然に防止し、良好な地域環境を確保することを目的として、市と北地区自治連合会との間で覚書を締結しています。また、市は大学院大学、参天製薬との間で環境保全協定書を結んでいます。環境保全協定書には、市が当該地域の環境保全に万全を期するために定期的に測定調査を実施するという項目があります。市と北地区自治連合会との間で結ばれた覚書と、市が大学院大学、参天製薬と締結した協定書の中に、市が定期的に測定調査を実施する項目があったことから、市が測定を行うようになったということでした。このような対応をとるようになった正確な理由をみつけることは出来ませんでした。その当時は最先端のバイオ研究に対して、地元の住民側が強い懸念を持たれたと思います。各事業所でも測定結果を報告していますが、それとは別に、市でも測定しましょうという流れがあったのではないかと推測されます。前回の委員会での質問に回答させていただきました。との発言。

**<委員長>**

先端大と参天製薬の環境測定に、なぜ市がお金を出して測定するのだという話でした。市と北地区自治連合会との覚書に基づき、大学や参天製薬が測定したものを鵜呑みにしないで、市独自で確認をしている。それが今も続いているようです。市は出費になりませんが、出された結果を鵜呑みにしないで自前データで確認することはいいことです。他になにかありますか。との発言。

**<事務局>**

年度内に学研高山地区内で事業者が新規施設を設置する場合は、年度内に会議を開催したいと思います。その場合は日程等を調整させていただきますので、出席よろしく願いいたします。との発言。

**<委員長>**

他になければ、これで委員会を終わる旨の発言。